

決算短信補足資料

(2021年3月期決算)

2021年4月30日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2020年3月期 通期実績 A	2021年3月期 通期実績 B	対前年		2022年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益*	15,082	8,981	▲ 6,100	59.6	12,575	+3,593	140.0
営業利益又は損失 (▲)	1,606	▲ 2,455	▲ 4,061	-	120	+2,575	-
経常利益又は損失 (▲)	1,483	▲ 2,573	▲ 4,057	-	▲ 50	+2,523	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (▲)	893	▲ 2,332	▲ 3,225	-	30	+2,362	-
【単体】							
営業収益*	9,619	5,079	▲ 4,539	52.8	7,365	+2,285	145.0
運輸収入*	8,568	4,194	▲ 4,374	49.0	6,430	+2,235	153.3
営業費用*	8,421	7,417	▲ 1,004	88.1	7,335	▲ 82	98.9
人件費	2,146	1,838	▲ 308	85.6	1,805	▲ 33	98.2
物件費*	4,243	3,554	▲ 688	83.8	3,610	+55	101.5
動力費	454	395	▲ 59	87.0	395	▲ 0	99.8
修繕費	1,664	1,519	▲ 144	91.3	1,435	▲ 84	94.4
業務費*	2,124	1,639	▲ 485	77.2	1,780	+140	108.6
減価償却費	1,382	1,410	+27	102.0	1,290	▲ 120	91.5
営業利益又は損失 (▲)	1,197	▲ 2,338	▲ 3,535	-	30	+2,368	-
経常利益又は損失 (▲)	1,069	▲ 2,507	▲ 3,577	-	▲ 140	+2,367	-
当期純利益又は純損失 (▲)	735	▲ 2,173	▲ 2,909	-	25	+2,198	-

*2022年3月期の通期予想は、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を含みます。

2. 単体損益計算書

(単位：億円)

	2020年3月期 通期実績 A	2021年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/28公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,619	5,300	5,079	▲ 4,539	52.8	▲ 220
運輸収入	8,568	4,350	4,194	▲ 4,374	49.0	▲ 155
その他収入	1,050	950	884	▲ 165	84.2	▲ 65
営業費用	8,421	7,900	7,417	▲ 1,004	88.1	▲ 482
人件費	2,146	2,090	1,838	▲ 308	85.6	▲ 251
物件費	4,243	3,770	3,554	▲ 688	83.8	▲ 215
動力費	454	420	395	▲ 59	87.0	▲ 24
修繕費	1,664	1,500	1,519	▲ 144	91.3	+19
業務費	2,124	1,850	1,639	▲ 485	77.2	▲ 210
線路使用料等	284	280	276	▲ 7	97.3	▲ 3
租税公課	364	340	336	▲ 27	92.5	▲ 3
減価償却費	1,382	1,420	1,410	+27	102.0	▲ 9
営業利益又は損失 (▲)	1,197	▲ 2,600	▲ 2,338	▲ 3,535	-	+261
営業外損益	▲ 127	▲ 150	▲ 169	▲ 41	132.6	▲ 19
営業外収益	75	70	84	+8	-	+14
営業外費用	203	220	253	+50	-	+33
経常利益又は損失 (▲)	1,069	▲ 2,750	▲ 2,507	▲ 3,577	-	+242
特別損益	▲ 11	▲ 50	▲ 239	▲ 228	-	▲ 189
特別利益	209	-	250	+41	-	-
特別損失	221	-	490	+269	-	-
当期純利益又は純損失 (▲)	735	▲ 1,950	▲ 2,173	▲ 2,909	-	▲ 223

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2021年3月期 通期実績				
		対前年	主な増減要因			
新幹線	1,655	▲2,756 (37.5%)	基礎トレンド(100.0%)			
			特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 2,569	
				・インバウンド	▲ 149	
				・曜日配列 (GW) 反動	▲ 34	
・台風19号反動	+25					
		等				
在来線	近畿圏	1,944	▲1,130 (63.2%)	基礎トレンド(100.0%)		
				特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 1,005
					・インバウンド	▲ 123
					・曜日配列 (GW) 反動	▲ 5
	・台風19号反動	+4				
			等			
	その他	594	▲486 (55.0%)	基礎トレンド(100.0%)		
				特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 453
					・インバウンド	▲ 28
					・曜日配列 (GW) 反動	▲ 4
・台風19号反動	+0					
		等				
在来線計		2,539	▲1,617 (61.1%)			
運輸収入計		4,194	▲4,374 (49.0%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

※コロナウイルス影響による運輸収入の減収額は、インバウンド需要の減も含め対前年約▲4,330億円

4. 運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

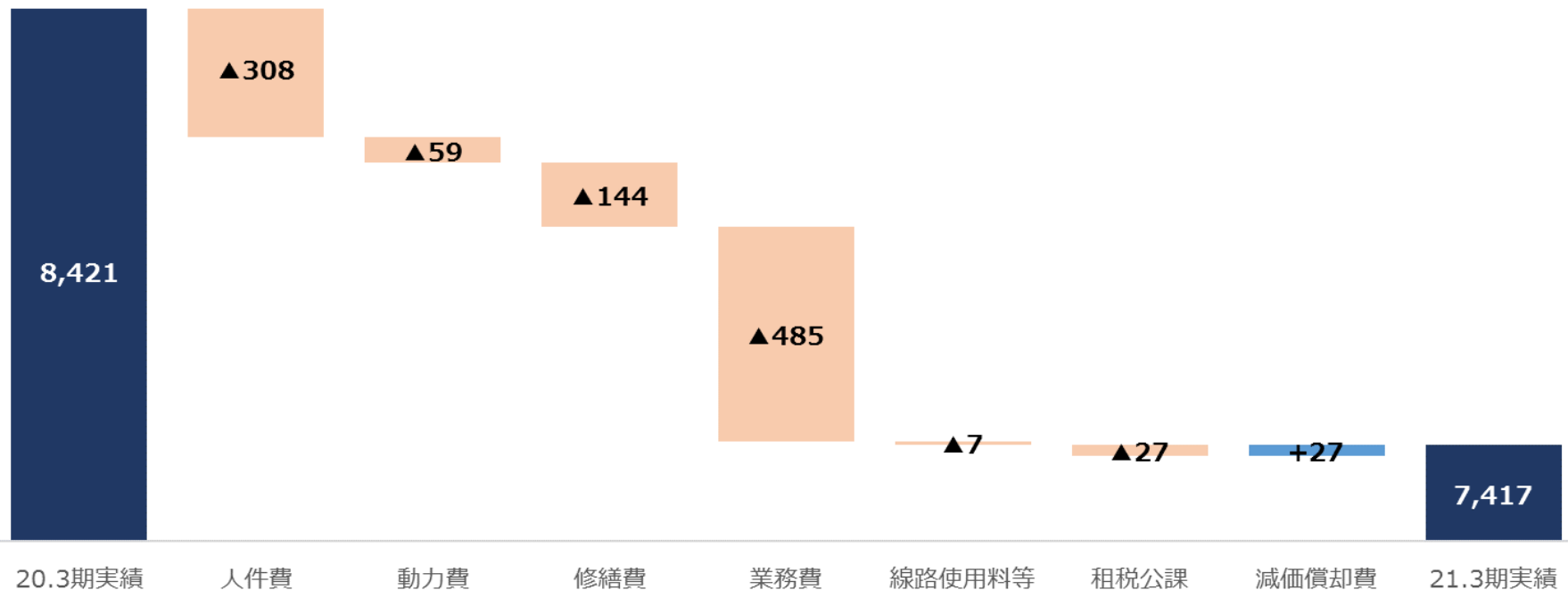
	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年
全社計	8,568	4,194	▲ 4,374 49.0%	1,759	1,041	▲ 718 59.2%
新幹線	4,412	1,655	▲ 2,756 37.5%	856	408	▲ 447 47.7%
定期	114	101	▲ 12 89.4%	27	24	▲ 3 87.5%
定期外	4,298	1,553	▲ 2,744 36.1%	828	384	▲ 444 46.4%
在来線	4,156	2,539	▲ 1,617 61.1%	903	632	▲ 270 70.0%
定期	1,420	1,173	▲ 246 82.6%	340	282	▲ 57 83.1%
定期外	2,736	1,365	▲ 1,370 49.9%	562	349	▲ 213 62.2%
近畿圏	3,075	1,944	▲ 1,130 63.2%	671	486	▲ 184 72.5%
定期	1,172	962	▲ 210 82.0%	282	233	▲ 49 82.6%
定期外	1,902	982	▲ 919 51.7%	389	253	▲ 135 65.1%
その他	1,081	594	▲ 486 55.0%	231	145	▲ 85 63.0%
定期	247	211	▲ 35 85.4%	58	49	▲ 8 85.3%
定期外	834	383	▲ 450 45.9%	173	96	▲ 77 55.5%

	通期実績 (4/1~3/31)			4Q実績 (1/1~3/31)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年
全社計	58,588	34,110	▲ 24,477 58.2%	12,263	8,159	▲ 4,104 66.5%
新幹線	20,610	7,717	▲ 12,892 37.4%	3,953	1,882	▲ 2,071 47.6%
定期	892	783	▲ 109 87.8%	218	190	▲ 28 87.1%
定期外	19,717	6,934	▲ 12,783 35.2%	3,735	1,692	▲ 2,043 45.3%
在来線	37,977	26,392	▲ 11,585 69.5%	8,309	6,276	▲ 2,033 75.5%
定期	22,794	18,867	▲ 3,927 82.8%	5,115	4,350	▲ 765 85.0%
定期外	15,183	7,525	▲ 7,657 49.6%	3,193	1,925	▲ 1,267 60.3%
近畿圏	29,693	20,934	▲ 8,759 70.5%	6,520	5,027	▲ 1,493 77.1%
定期	18,827	15,389	▲ 3,438 81.7%	4,271	3,597	▲ 673 84.2%
定期外	10,866	5,545	▲ 5,320 51.0%	2,249	1,429	▲ 820 63.5%
その他	8,284	5,457	▲ 2,826 65.9%	1,788	1,249	▲ 539 69.9%
定期	3,967	3,477	▲ 489 87.7%	844	753	▲ 91 89.2%
定期外	4,316	1,979	▲ 2,336 45.9%	944	496	▲ 447 52.6%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2021年3月期通期実績			主な増減要因
		対前年		
人件費	1,838	▲ 308	85.6%	賞与の減、超勤手当の減 等
動力費	395	▲ 59	87.0%	減便に伴う車キロの減、燃料費調整額の減 等
修繕費	1,519	▲ 144	91.3%	施策抑制による減、除却費の減 等
業務費	1,639	▲ 485	77.2%	発売手数料の減、広告宣伝費の減 等
線路使用料等	276	▲ 7	97.3%	関西空港線
租税公課	336	▲ 27	92.5%	法人事業税の減
減価償却費	1,410	+27	102.0%	20.3期稼働資産の平年度化による増
営業費用計	7,417	▲ 1,004	88.1%	



6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2020年3月期 通期実績 A	2021年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/28公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	15,082	9,200	8,981	▲ 6,100	59.6	▲ 218
営業費用	13,475	12,100	11,437	▲ 2,038	84.9	▲ 662
営業利益又は損失 (▲)	1,606	▲ 2,900	▲ 2,455	▲ 4,061	—	+444
営業外損益	▲ 122	▲ 150	▲ 118	+4	96.3	+31
営業外収益	88	100	130	+41	—	+30
営業外費用	211	250	248	+37	—	▲ 1
経常利益又は損失 (▲)	1,483	▲ 3,050	▲ 2,573	▲ 4,057	—	+476
特別損益	▲ 76	▲ 100	▲ 173	▲ 96	—	▲ 73
特別利益	230	—	319	+88	—	—
特別損失	307	—	493	+185	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (▲)	893	▲ 2,400	▲ 2,332	▲ 3,225	—	+67
包括利益	870	—	▲ 2,404	▲ 3,275	—	—

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2020年3月期 通期実績 A	2021年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/28公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	15,082	9,200	8,981	▲ 6,100	59.6	▲ 218
運輸業	9,334	4,990	4,768	▲ 4,565	51.1	▲ 221
流通業	2,260	1,440	1,422	▲ 838	62.9	▲ 17
物販・飲食	1,542	920	914	▲ 628	59.3	▲ 5
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【146】	【55】	【45】	【▲ 100】	【31.3】	【▲ 9】
百貨店	632	450	430	▲ 202	68.0	▲ 19
不動産業	1,651	1,460	1,457	▲ 193	88.3	▲ 2
ショッピングセンター	611	470	454	▲ 156	74.4	▲ 15
不動産賃貸・販売	1,021	970	981	▲ 40	96.0	+11
【不動産販売】(再掲)	【536】	【480】	【501】	【▲ 35】	【93.4】	【+21】
その他	1,836	1,310	1,333	▲ 503	72.6	+23
ホテル	373	180	156	▲ 217	41.8	▲ 23
旅行	423	170	187	▲ 236	44.3	+17
営業利益又は損失 (▲) ^{*1}	1,606	▲ 2,900	▲ 2,455	▲ 4,061	—	+444
運輸業	1,053	▲ 2,760	▲ 2,521	▲ 3,574	—	+238
流通業	38	▲ 160	▲ 150	▲ 189	—	+9
物販・飲食	34	▲ 140	▲ 128	▲ 162	—	+11
百貨店	2	▲ 20	▲ 21	▲ 24	—	▲ 1
不動産業	349	250	292	▲ 56	83.8	+42
ショッピングセンター	75	0	20	▲ 54	27.6	+20
不動産賃貸・販売	198	170	189	▲ 9	95.3	+19
その他	197	▲ 200	▲ 51	▲ 248	—	+148
ホテル	▲ 12	▲ 120	▲ 116	▲ 103	—	+3
旅行	10	▲ 140	▲ 73	▲ 83	—	+66

^{*1} 各セグメントの内訳は、主要子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2021年3月期通期実績			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	914	▲ 628	59.3	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 128	▲ 162	-	
	百貨店	営業収益	430	▲ 202	68.0	
		営業損失	▲ 21	▲ 24	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	454	▲ 156	74.4	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業利益	20	▲ 54	27.6	
	不動産賃貸・販売	営業収益	981	▲ 40	96.0	・販売戸数の減 等
		営業利益	189	▲ 9	95.3	
その他	ホテル	営業収益	156	▲ 217	41.8	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 116	▲ 103	-	
	旅行	営業収益	187	▲ 236	44.3	
		営業損失	▲ 73	▲ 83	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2020年3月期 期末 A	2021年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	32,752	34,794	+2,041
負債	20,521	25,234	+4,712
純資産	12,231	9,560	▲2,670
長期債務残高	10,189	15,595	+5,405
【長期債務平均金利 (%)】	【1.79】	【1.28】	【▲0.51】
新幹線債務	1,019	1,009	▲10
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	5,449	8,399	+2,950
【社債平均金利 (%)】	【1.48】	【1.11】	【▲0.37】
自己資本比率 (%)	34.1	24.5	▲9.6
1株当たり純資産 (円)	5,847.27	4,460.73	▲1,386.54

	2020年3月期 通期実績 A	2021年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,401	▲1,032	▲3,434
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,686	▲2,116	+569
フリーキャッシュフロー	▲285	▲3,149	▲2,864
財務活動によるキャッシュフロー	▲291	4,467	+4,759
現金及び現金同等物の増減	▲582	1,317	+1,900
現金及び現金同等物の期末残高	782	2,100	+1,317

10.単体業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績 A	2022年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益*	5,079	7,365	+2,285	145.0
運輸収入*	4,194	6,430	+2,235	153.3
その他収入*	884	935	+50	105.7
営業費用*	7,417	7,335	▲ 82	98.9
人件費	1,838	1,805	▲ 33	98.2
物件費*	3,554	3,610	+55	101.5
動力費	395	395	▲ 0	99.8
修繕費	1,519	1,435	▲ 84	94.4
業務費*	1,639	1,780	+140	108.6
線路使用料等	276	270	▲ 6	97.7
租税公課	336	360	+23	106.8
減価償却費	1,410	1,290	▲ 120	91.5
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,338	30	+2,368	—
営業外損益	▲ 169	▲ 170	▲ 0	100.3
営業外収益	84	65	▲ 19	—
営業外費用	253	235	▲ 18	—
経常利益又は損失 (▲)	▲ 2,507	▲ 140	+2,367	—
特別損益	▲ 239	175	+414	—
特別利益	250	—	—	—
特別損失	490	—	—	—
当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 2,173	25	+2,198	—

*2022年3月期の通期予想は、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を含みます。

11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2022年3月期 通期見通し					
		対前年	主な増減要因				
新幹線	3,135	+1,479 (189.4%)	基礎トレンド(100.0%)				
			特 殊 要 因	・コロナ影響(国内)の反動増	+1,330		
				・インバウンド	+24		
				・国内旅行需要の増	+108		
			等				
在 来 線	近畿圏	2,470	+525 (127.0%)	基礎トレンド(100.0%)			
				特 殊 要 因	・コロナ影響(国内)の反動増	+485	
					・インバウンド	+20	
					・国内旅行需要の増	+9	
				等			
	その他	825	+230 (138.8%)	基礎トレンド(100.0%)			
				特 殊 要 因	・コロナ影響(国内)の反動増	+202	
					・インバウンド	+4	
					・国内旅行需要の増	+13	
				等			
	在来線計		3,295	+755 (129.8%)			
	運輸収入計		6,430	+2,235 (153.3%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

※インバウンドを含むコロナ影響の対前年反動増は約+2,070億円

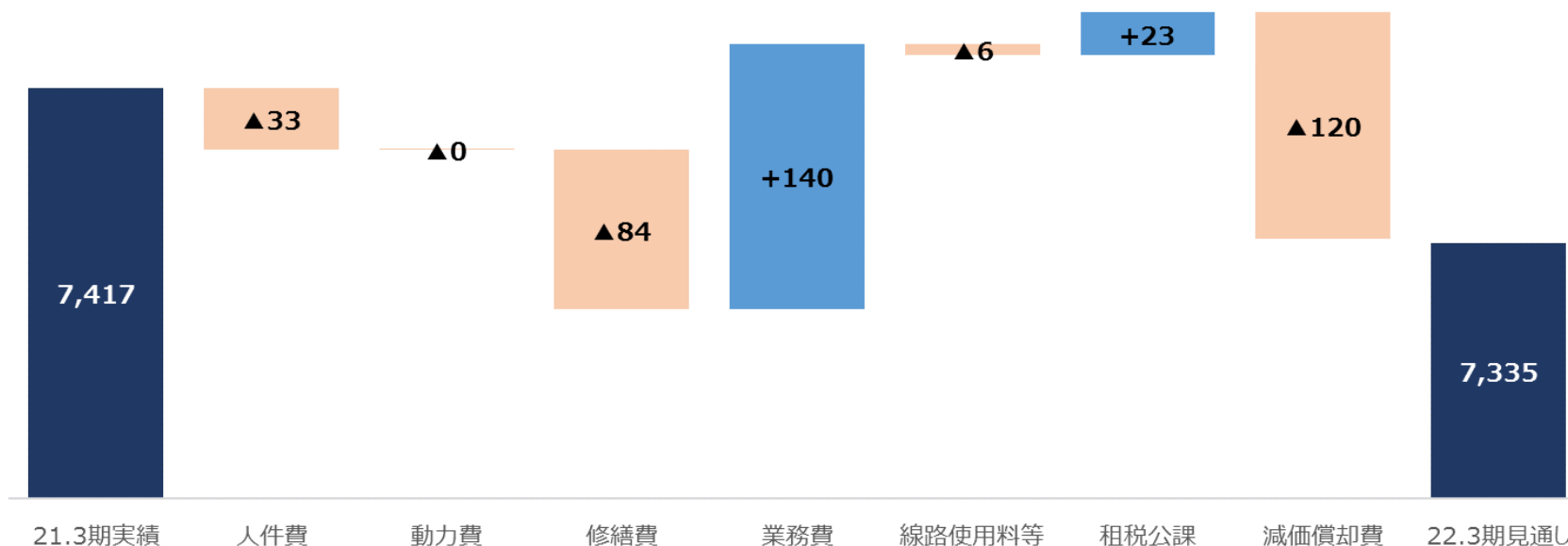
※2022年3月期の通期予想は、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を含みます。

12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2022年3月期 通期見通し			
		対前年		
人件費	1,805	▲ 33	98.2%	人員減、賞与の減 等
動力費	395	▲ 0	99.8%	
修繕費	1,435	▲ 84	94.4%	施策抑制による減 等
業務費*	1,780	+140	108.6%	発売手数料の増、DX関連経費の増 等
線路使用料等	270	▲ 6	97.7%	
租税公課	360	+23	106.8%	法人事業税の増 等
減価償却費	1,290	▲ 120	91.5%	新幹線車両の償却方法見直し
営業費用計*	7,335	▲ 82	98.9%	

*2022年3月期の通期予想は、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を含みます。



13.連結業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績 A	2022年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 (旧収益認識基準*)	8,981	12,575	+3,593	140.0
		12,095	+3,113	134.7
営業費用 (旧収益認識基準*)	11,437	12,455	+1,017	108.9
		11,975	+537	104.7
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,455	120	+2,575	—
営業外損益	▲ 118	▲ 170	▲ 51	143.8
営業外収益	130	69	▲ 61	—
営業外費用	248	239	▲ 9	—
経常利益又は損失 (▲)	▲ 2,573	▲ 50	+2,523	—
特別損益	▲ 173	165	+338	—
特別利益	319	—	—	—
特別損失	493	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 2,332	30	+2,362	—
1株当たり当期純利益 又は純損失 (▲) (円)	▲ 1,219.71	15.69	—	—

*「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を除いた参考値です。

14.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績 (旧収益認識基準) A	2022年3月期 通期予想 (新収益認識基準) B	対前年		2022年3月期 通期予想 (旧収益認識基準) B'	対前年	
			増減	比率(%)		増減	比率(%)
			B-A	B/A		B'-A	B'/A
営業収益 ^{*1}	8,981	12,575	+3,593	140.0	12,095	+3,113	134.7
運輸業	4,768	7,072	+2,303	148.3	7,085	+2,316	148.6
流通業	1,422	1,581	+158	111.2	1,994	+571	140.2
物販・飲食	914	1,303	+388	142.5	1,344	+429	147.0
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【45】	【114】	【+68】	【247.9】	【114】	【+68】	【247.9】
百貨店	430	224	▲ 206	52.1	571	+140	132.7
不動産業	1,457	1,483	+25	101.8	1,531	+73	105.1
ショッピングセンター	454	474	+19	104.2	514	+59	113.0
不動産賃貸・販売	981	992	+10	101.1	1,000	+18	101.9
【不動産販売】(再掲)	【501】	【543】	【+41】	【108.4】	【543】	【+41】	【108.4】
その他	1,333	2,439	+1,105	182.9	1,485	+151	111.4
ホテル	156	305	+148	195.4	310	+153	198.6
旅行	187	1,190	+1,002	634.2	219	+31	116.7
営業利益又は損失(▲) ^{*1}	▲ 2,455	120	+2,575	-			
運輸業	▲ 2,521	▲ 96	+2,425	-			
流通業	▲ 150	▲ 14	+136	-			
物販・飲食	▲ 128	▲ 15	+113	-			
百貨店	▲ 21	0	+21	-			
不動産業	292	271	▲ 21	92.6			
ショッピングセンター	20	25	+4	119.3			
不動産賃貸・販売	189	155	▲ 33	82.3			
その他	▲ 51	▲ 7	+44	-			
ホテル	▲ 116	▲ 30	+86	-			
旅行	▲ 73	▲ 45	+28	-			

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店(その他業)、広島銀山町店(その他業)は除きます。

15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2022年3月期通期予想			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,303	-	-	・コロナ影響の反動増 等
		(旧収益認識基準*)	1,344	+429	147.0	
		営業損失	▲ 15	+113	-	
	百貨店	営業収益	224	-	-	・コロナ影響の反動増 等
		(旧収益認識基準*)	571	+140	132.7	
		営業利益	0	+21	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	474	-	-	・コロナ影響の反動増 等
		(旧収益認識基準*)	514	+59	113.0	
		営業利益	25	+4	119.3	
	不動産賃貸・販売	営業収益	992	-	-	・不動産販売の増 等
		(旧収益認識基準*)	1,000	+18	101.9	
		営業利益	155	▲ 33	82.3	
その他	ホテル	営業収益	305	-	-	・コロナ影響の反動増 等
		(旧収益認識基準*)	310	+153	198.6	
		営業損失	▲ 30	+86	-	
	旅行	営業収益	1,190	-	-	・コロナ影響の反動増 等
		(旧収益認識基準*)	219	+31	116.7	
		営業損失	▲ 45	+28	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

*「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を除いた参考値です。

16. 諸元表

(単位：人、億円)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想
連結ROA (%)	4.9	—	0.3
連結ROE (%)	8.1	—	0.4
連結EBITDA*	3,322	▲ 708	1,771
連結減価償却費	1,704	1,734	1,640
連結設備投資 (自己資金)	2,545	2,166	2,450
単体設備投資 (自己資金)	1,762	1,674	1,700
安全関連投資	1,161	1,051	850
1株当たり配当金 (円)	182.5	100.0	100.0

	2020年3月期 通期実績		2021年3月期 通期実績		2022年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	48,323	24,439	47,984	23,900	—	—
金融収支	▲ 182	▲ 167	▲ 195	▲ 178	▲ 205	▲ 193
受取利息・配当金	12	26	9	24	7	18
支払利息	194	193	204	202	212	211

* EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2021年4月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2021年4月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>